

# 大阪 上伸余力欠く展開も海外や荷動きを注視

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見横ばい。海外市場が地区相場を上回っている状況には変わらず、電炉筋にとって今後も輸出商談荷動きを注視する必要性は残る展開にあるが、3連休後も在庫面での不安は持ち合わせておらず、購入意欲が停滞していることで、需給面で見れば、上伸余力を欠いた状況にありそうだ。同地区電炉のH2実勢値は2万4500~2万5500円、新断バラ同2万7500円中心(一部上値2万8000円)、鋼グライ粉バラ同2万1000~2万2000円見当で推移。

今月生産は増加へ向かいつつも、電炉筋の多くが先月末ですでに在庫余力を抱え、購入量については先月対比で減少が見込まれている。正月明け早々からの想定外といえる入荷増が電炉需要の減退をもたらせた結果、複数で荷受け制限が行い、3連休後も極端な入荷押し上げに対しては敬遠の声も伝えられることで、「需給面での上伸力は欠いたままにあり、様子見ですすん

でいくのでは」(商社)との見方を強めている。

一方、アジア向け輸出商談では需要国やミルの調達足並みは揃っておらず、価格にバラ付きが見られつつも、正月明けから契約もすすんでいる。また、中東情勢の緊迫化が為替を不安定ものとしてきたが、ひとまずは警戒感の後退から為替も円安へ振れている。地区内でも先月下旬から荷動きは好調を保ち、海外市場の不透明性からここまで出荷を推し進める反面、ヤード供給力の持続性に疑問の声も根強く、米国を始め、無理に価格を引き下げてまで契約を急ぐ雰囲気にはないなかで、関東テンドーも前月を上回る落札となったため、「3連休明けもメーカーによっては一定の需要を維持し、海外も堅調ムードを保っている。輸出次第で荷動きや地区市況に変調をきたす可能性は残ったままにあり、ピークを迎えたとは思いつらい」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。

## 関西鉄源連合会、16日(木)に第89回共同輸出入札を実施

(大阪) 関西鉄源連合会(黒川友二会長:扶和メタル会長)は16日(木)、第89回共同輸出テンドーを実施する。落札予定数量は5,000ト、品種はH2グレード中心。

積期は2020年1月20日(月)~2月20日(木)まで。前回は10月15日に行われ、JFE商事がH2FASトン当たり2万2050円(5,200ト)で落札した。

## 山原商会、設備の増強でサービス向上図る

(山口) 山原商会(本社=山口県宇部市、山原一紀社長)はこのほど、老朽化に伴って油圧ショベルマグネット・グラブ仕様機(住友建機製)を更新し、また7トンダンプ(日野自動車製)を追加導入するなど設備を増強。作業の効率化と共に狭所でも運搬可能になり顧客へのサービスの向上を図った。

同社は金属スクラップ全般のリサイクルを手掛けており、月間扱い数量は約5,000ト(代納含む)を誇る。

環境保全に取り組む傍らで、地元のプロサッカーチームのスポンサーに加盟するなどリサイクルの周知や地域発展にも努めている有力企業だ。



## サヤミツ産業 有限会社

兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南2丁目29 TEL (079) 247-2510  
FAX (079) 247-2511

ステンレス・製鋼原料・鍛造原料・アルミ・その他各種スクラップ

**SAYAMITSU Inc.**

## メール速報サービス

■ 東京製鉄、非鉄建値・ニュース速報

■ 主要国スクラップ輸出入・粗鋼生産など

会費無料 登録無料

日刊 METAL RECYCLING JAPAN 市況通信

株式会社 日刊市況通信社

お問い合わせは mb@mrj.jpまで



購読者限定